

夏季集中講義 in 早稲田大学

学生交流の一環として、本学の学生が早稲田大学の集中講義科目（下表参照）を受講することができます。早稲田大学のキャンパスでの受講となり、交通費や滞在費は各自負担となりますが、授業料は必要ありません。（但し、一部科目において実習料等が必要な場合があります。）

この科目で単位修得した場合は、本学の基幹教育科目として認定され、成績は「R（認定）」となります。なお、単位認定時期は、2026年度後期を予定しています。

他大学の教員や学生と知り合い、幅広い人脈や活動の場をもつなど、本人の心がけ次第で有意義な機会となります。

関東に実家または親戚がいる方は勿論、それ以外の学生の方も受講してみたいかでしょうか？



申込期間：令和8年6月8日（月）～6月12日（金）12:00

提出書類：（1）履修申請書 （2）学研災・付帯賠償責任保険加入証明書

申込先：教務課基幹教育教務係（Moodleを通して申請）

※応募多数の場合、選考のうえ受講者を決定します。

※シラバス・履修申請書は、以下のURLもしくは学生ポータルからの通知から確認できます。（履修申請書は電子データ（Word形式）で提出してください。）

※申請理由は具体的に記載してください。具体的な記載が乏しい場合、担当部署から申請理由等について、確認を取ることがあります。

※受講にあたっては、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険（又は同等以上の保険）への加入が条件となります。申請の際は、履修申請書と併せて加入証明書の電子データ（PDF形式）を提出してください。

※受講が許可された場合、原則として履修を取りやめることはできませんので、必ず受講してください。

※やむを得ない事情により履修がどうしても困難となった場合は、速やかに学務部教務課教務・学務情報係へ連絡してください。

※無断欠席は、早稲田大学に迷惑をかけることになるので、絶対にしないでください。

URL: <https://www.kyushu-u.ac.jp/>（九州大学WEBサイト > ニュース > お知らせ）

番号	科目名	担当教員	授業概要	単位数	実施日程・備考	受入人数	対象年次	実施場所
1	サーバサイドWebプログラミング初級 01	小林 明大 満岡 秀一	本講はサーバサイド技術についての講義ですが、授業にはクライアントサイドアプリケーション開発も含まれます。サーバサイドエンジニアにクライアントサイドの知識は必須で、クライアントサイドもまたサーバサイドの知識が必須です。サーバサイドとクライアントサイドは切っても切れない関係でどちら片方だけでは生きていきません。本講では互いの関係性を重視し、モダンでシンプルなクライアント・サーバシステムの開発を行います。講義の殆どが実際に手を動かすハンズオン実習となっています。もしあなたがゆるいエンジニアになりたいなら、この授業で手取り早くクライアントサーバの知識と経験を得ることが出来ます。もしあなたがエンジニアと関係ない道へ進みたいならこの授業がクライアントサーバを触る最後の機会になるでしょう。どんな人でも遠慮せずを受けてください。たくさんの技術を詰め込んだタフな内容のため難易度は決して低くはありませんが得るものは大きいです。	2	授業日程 2026/08/25（火）2時限～4時限 2026/08/26（水）2時限～4時限 2026/08/27（木）2時限～5時限 2026/08/28（金）2時限～5時限 PCの持参を必須とする	若干名	1年以上	早稲田 キャンパス
2	サーバサイドWebプログラミング初級 02	藤田 真一	現代社会では、インターネットを活用したサービスが学業・ビジネス・プライベートを問わず幅広く利用されています。こうしたWebサービスは、サーバ上で動作するプログラムによって支えられています。本講義では、サーバサイドプログラミングの基礎を学びながら、Webシステムの仕組みを理解し、実際にPHP（Hypertext Preprocessor）を用いた開発に取り組みます。特に、Webアプリケーションの基本的な動作として重要なCRUD（Create, Read, Update, Delete）の概念を、実践的に学びます。対象：プログラミング未経験者や初心者を中心とした、実習を通じて手を動かしながら学ぶスタイルを採用します。内容： ・PHPの基本構文とプログラミングの基礎 ・Webアプリケーションの仕組み（リクエストとレスポンス） ・フォーム処理とデータの受け渡し ・CRUDの実践（ファイルを使ったデータの保存・更新・削除） ・シンプルな動的Webサイトの開発 初心者でも安心して取り組めるよう、基礎から丁寧に解説し、Web開発の第一歩をサポートします。	2	授業日程 8月24日（月）2～5時限 8月25日（火）2～4時限 8月26日（水）2～4時限 8月27日（木）2～5時限 就職活動や教育実習等で1日でも休む予定のある方はお勧めできません。 毎回の講義時間内に、その講義で出題された課題を完成させていきます。 毎回の課題はその前回の課題の続きになりますので、講義中に課題を完了できなかった場合や欠席した場合は、講義時間前に追いつくことが必要です（電子メール等でフォローします）。 それ以外の予習・復習は必須ではありません。	若干名	1年以上	早稲田 キャンパス
3	マルチメディア初級（画像処理とアニメーション）α 02	平野 砂峰旅	本講義は、マルチメディアの様々な要素のうち、特に「サウンド」と「グラフィック」に注目して「サウンド」と「グラフィック」のデジタル表現の仕組みを学び、それに基づいたオーディオビジュアルコンテンツ表現について作品制作を通して学びます。特に「サウンド」と「グラフィック」をあらかじめ用意して組み合わせるだけでなく、サウンドによってグラフィックを生成したり加工したりする表現を目指します。そのために、オーディオ・ビジュアルを対象としたデジタル信号処理に注目していきます。講義ではコンピュータ音楽やCG、メディアアート・ミュージックビデオの作品の紹介等を通じて、コンピュータを用いて「サウンド」や「グラフィック」をリアルタイムに生成したり加工したりという表現を学びます。コンピュータプログラムによってグラフィックやサウンドを生成したり、スマートフォン等を用いて、録音、撮影します。そしてそれらを、加工するためのデジタル信号処理の応用例を知るとともに、それらがどのように作られているかを実習を通して理解します。なお、本講義では最終的にグループワークによる課題制作を行います。制作時間の全てを授業時間中に取ることは不可能であるため、授業時間以外の時間を活用して制作を進めていくことになります。サウンド制作にAudacityあるいはGarageBand（MacOS）をグラフィック制作にProcessingを用いて、デジタル信号処理を利用したオーディオビジュアルコンテンツ制作の実習を行います。また、必要に応じてCycling74社のMax、PureData、PlugDataを使用する場合があります。	1	受講前提条件：PC（Windows または MacOS）を持っていること。コンピュータやソフトウェアの起動・終了や、文字の入力など、コンピュータの基本操作を修得していること。なお、メールやWebブラウザの使用に支障がないこと。USBメモリを持参してください。録音機器、撮影機器（スマートフォン、Web camera等も含む）、ヘッドホン、イヤホンを持っている学生はできるだけ持参してください。また、使い慣れたPCを持参して受講しても構いません。マルチメディア初級β02とは、画像とサウンドのデジタル表現のための基礎知識やプログラミングの基礎知識など重複する内容が多いため両方とも履修することは推奨しません。 関連URL Processing https://processing.org/ P5.js https://p5js.org/ Audacity http://audacity.sourceforge.net/ http://www.utsunomia.com/y.utsunomia/htmlindex%20for%20audacity_pro_manual_11_11_23/index.html Max http://www.cycling74.com/products/max/ http://orca.ucsd.edu/~msp/software.html https://plugdata.org/ 【講義日程】 20日（木）、26日（水）、28日（金）2限 8/20 3時限～5時限 8/26 3時限～5時限 8/28 2時限	若干名	1年以上	早稲田 キャンパス
4	マルチメディア初級（画像処理とアニメーション）β 02	平野 砂峰旅	本講義は、マルチメディアの様々な要素のうち、特に「サウンド」と「グラフィック」に注目して「サウンド」と「グラフィック」のデジタル表現の仕組みを学び、それに基づいたオーディオビジュアルコンテンツ表現について作品制作を通して学びます。特に「サウンド」と「グラフィック」をあらかじめ用意して組み合わせるだけでなく、サウンドによってグラフィックを生成したり加工したりする表現を目指します。そのために、オーディオ・ビジュアルを対象としたデジタル信号処理に注目していきます。講義ではコンピュータ音楽やCG、メディアアート・ミュージックビデオの作品の紹介等を通じて、コンピュータを用いて「サウンド」や「グラフィック」をリアルタイムに生成したり加工したりという表現を学びます。コンピュータプログラムによってグラフィックやサウンドを生成したり、スマートフォン等を用いて、録音、撮影します。そしてそれらを、加工するためのデジタル信号処理の応用例を知るとともに、それらがどのように作られているかを実習を通して理解します。なお、本講義では最終的にグループワークによる課題制作を行います。制作時間の全てを授業時間中に取ることは不可能であるため、授業時間以外の時間を活用して制作を進めていくことになります。サウンド制作にAudacityあるいはGarageBand（MacOS）をグラフィック制作にProcessingを用いて、デジタル信号処理を利用したオーディオビジュアルコンテンツ制作の実習を行います。また、必要に応じてCycling74社のMaxあるいはPureDataを使用することがあります。 なお、マルチメディア初級α02とは、画像とサウンドのデジタル表現のための基礎知識やプログラミングの基礎知識など類似の部分が多いため、両方とも履修することは推奨しません。	1	受講前提条件：PC（Windows または MacOS）を持っていること。コンピュータやソフトウェアの起動・終了や、文字の入力など、コンピュータの基本操作を修得していること。なお、メールやWebブラウザの使用に支障がないこと。USBメモリを持参してください。録音機器、撮影機器（スマートフォン、Web camera等も含む）、ヘッドホン、イヤホンを持っている学生はできるだけ持参してください。また、使い慣れたPCを持参して受講しても構いません。 関連URL Processing https://processing.org/ P5.js https://p5js.org/ Audacity http://audacity.sourceforge.net/ http://www.utsunomia.com/y.utsunomia/htmlindex%20for%20audacity_pro_manual_11_11_23/index.html Max http://www.cycling74.com/products/max/ http://orca.ucsd.edu/~msp/software.html https://plugdata.org/ 【講義日程】 8/21 2時限～4時限 8/27 3時限～5時限 8/28 3時限	若干名	1年以上	早稲田 キャンパス
5	プログラミング中級（C/C++）05	小椋 理子	C言語プログラミングは、コンピュータサイエンスとソフトウェア工学の基礎的な分野の一つとして位置づけられています。C言語は、効率的でパフォーマンスが高いコードを書くことができるため、システムプログラミング、組み込みシステム、オペレーティングシステム、コンパイラ、ネットワークプロトコルなど、さまざまな用途に広く使われています。本授業は、C言語の入門編を習得または他のプログラミング言語科目を学修された方を想定しています。場合分けと繰り返し（if文、while文、for文など）ができること、関数についての基本的な知識を持つことを期待しています。ここで扱う内容は、関数、配列、構造体、共用体、ファイル操作などです。ビット操作、CPUの違いなど、組み込みシステム向けの内容も扱います。さらに、分割コンパイル、モジュールなど、大規模プログラミング向けの内容にも触れます。複数人でのプログラムの開発に取り組み、協力してプログラム開発を行う経験を経験します。個々が作成した小プログラムを連携統合させて大きなプログラムを作成します。また、中級者として重要な観点であるプログラムの作成過程と検査も重視します。この授業では次の5点が分かっているものとします。受講レベルに達しているかどうかを確認するチェックに役立ててください。 1. ポインタとはアドレスを格納する変数のことである。 2. 配列変数の添え字は0から始まる。 3. 繰り返し文はfor文、while文、do～while文の3種類がある。 4. 条件分岐はif文またはswitch文を使う。 5. 演算子には優先順位と結合性という性質がある。 対面による4日間の集中講義です。コロナ感染等の状況によりオンラインに変更になる場合も想定してZoomも活用します。各時限の前半でサンプルプログラムの説明を行い、後半で各自実習を行い、結果を提出するスタイルが基本です。	2	* 課題は本Moodleサイトで提出していただきます。1～2日以内にMoodle上でフィードバックしますので、必ず内容を確認し、必要に応じて修正・再提出してください。 * 受講生の理解度に応じて順序や内容を変更することがあります。 * プログラムの説明は最初に行いますので、遅刻しないようにしてください。 * USBメモリは必須です。 講義日程： 7月31日（金）2～4限 8月3日（月）1～4限 8月4日（火）1～4限 8月5日（水）1～3限	若干名	1年以上	早稲田 キャンパス

番号	科目名	担当教員	授業概要	単位数	実施日程・備考	受入人数	対象年次	実施場所
6	アイヌ語<口承文芸>(入門)	奥田 統己	アイヌ口承文芸のうち、とくに散文説話(ふつうの人間の数奇な体験の物語)というメロディーをつけずに語られるジャンルを中心に、内容を概観し、その背景にある世界観、倫理観、幸福観などの文化にどのように接近していくか、自らの文化を省みながら、考えます。また散文説話のテキストに加えて日常会話の例文についても学び、アイヌ語の発音と文法の基礎を学びます。さらにテキストの実例に即して録音を読み、訳を確認して、基本単語や表現、技巧の基本を見ていきます。「ゴールデンカムイ」のようなマンガが描く虚構と固定観念によるイメージではなく、現実の多様なアイヌ文化・アイヌ史に接近しましょう。	1	アイヌ語を初めて学ぶ人でも構いませんが、通年または集中で開講されるアイヌ語のクラスを履修中または履修済であるとさらに効果的でしょう。 【授業日程(予定)】 8月17日(月)2~4限 8月18日(火)2~4限 8月19日(水)2~4限 8月20日(木)2~3限 8月21日(金)2~4限(最後の2日は試験運営などのため3コマ/4コマで開講します) 関連URL: アイヌ語学習者のためのアイヌ語基本文庫・音声資料リスト http://jinbunweb.sgu.ac.jp/ainu/biblio/japanese.html アイヌ語音声資料 https://waseda.repo.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_snippet&index_id=1635&pn=1&count=20&order=7&lang=japanese&page_id=13&block_id=21 国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ https://ainugo.nam.go.jp/ AA研アイヌ語資料公開プロジェクト https://ainugo.aa-ken.jp/ ほっかいどうアイヌ語アーカイブ http://ainugo.hm.pref.hokkaido.lg.jp/ 北海道アイヌ協会 http://www.ainu-assn.or.jp/	若干名	1年以上	早稲田キャンパス
7	アイヌ語<口承文芸>(初級)	奥田 統己	アイヌ口承文芸のうち、とくに叙情歌(個人の感情を込める歌謡)、神謡(神々が歌う物語)および英雄叙事詩(英雄が語る物語)というメロディーをつけて歌われる3つのジャンルから、それぞれいくつかの実例をとりあげ、テキストを見ながら録音を聞き、訳を確認して、基本単語や表現、技巧の基本を見ていきます。 アイヌ語のリズムとイントネーションに沿った朗読を少し練習します。とくに韻文を語るうえで必要となる、アイヌ語の韻律について学びます。 「入門」に引き続き、「ゴールデンカムイ」のようなマンガが描く虚構と固定観念によるイメージではなく、現実の多様なアイヌ文化・アイヌ史に接近することを試みます。	1	アイヌ語を初めて学ぶ人でも構いませんが、通年または集中で開講されるアイヌ語のクラスを履修中または履修済であるとさらに効果的でしょう。 【授業日程(予定)】 8月24日(月)2~4限 8月25日(火)2~4限 8月26日(水)2~4限 8月27日(木)2~3限 8月28日(金)2~4限(最後の2日は試験運営などのため3コマ/4コマで開講します) 関連URL: アイヌ語学習者のためのアイヌ語基本文庫・音声資料リスト http://jinbunweb.sgu.ac.jp/ainu/biblio/japanese.html アイヌ語音声資料 https://waseda.repo.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_snippet&index_id=1635&pn=1&count=20&order=7&lang=japanese&page_id=13&block_id=21 国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ https://ainugo.nam.go.jp/ AA研アイヌ語資料公開プロジェクト https://ainugo.aa-ken.jp/ ほっかいどうアイヌ語アーカイブ http://ainugo.hm.pref.hokkaido.lg.jp/ 北海道アイヌ協会 http://www.ainu-assn.or.jp/	若干名	1年以上	早稲田キャンパス
8	EU科学技術政策	福田 八寿絵 朝日 透	本講義は、EU科学技術政策の歴史や決定の仕組み、科学技術政策の分析手法と評価、各専門分野別の国際共同研究の実施状況や研究者交流の取り組みについて紹介し、EUの先端科学研究を総合的に解説する。EUにおいて科学技術は、知識基盤型経済社会の構築を目指す「リスボン戦略」や「欧州研究圏(ERA)」創設によるイノベーション促進との関連できわめて重要視されている。EU科学技術政策の中心は、科学技術研究開発枠組み計画に基づいており、現在ホライズン2020が実施され始めている。科学技術研究は、環境問題、病気の克服、世界の貧困や飢餓など、地球規模の諸問題の解決に貢献できるが、社会や人間との関係を無視することは許されない。本講義は、EU国際公共政策研究の学際的な視点から、EU科学技術政策の全体像を体系的に分かり易く理解できるように設計したい。	2	8月24日 2~4時限 8月25日 2~4時限 8月26日 2~4時限 8月27日 2~4時限 8月28日 2~3時限	若干名	1年以上	早稲田キャンパス
9	近現代朝鮮社会史 1	上山 由里香	本授業は、歴史に対する様々な見方や、主体的に問い直す力を養うことを目的とする集中講義です。女性たちの戦争と平和資料館(wam)での学外実習を出发点に、日本軍「慰安婦」問題を一つの事例として取り上げ、植民地支配や戦争が人々の生活世界にどのように作用したのかを検討します。その際、特定の国家の歴史としてではなく、帝国と植民地、移動と越境といった広域的な歴史構造のなかで捉える視点を養います。 実習では、展示資料や証言と向き合い、それらを批判的に読み解きながら、「誰が歴史を語るのか」「記憶はどのように形成されるのか」について検討します。 日記・写真・証言など様々な史料を用いた分析や受講生同士の議論を通して、歴史の枠組みそのものを問い直し、自ら問いを立てて論理的に説明する力を養います。	1	受講人数により形式は検討する予定ですが、適宜グループでのディスカッションやグループワークなども取り入れる予定です。 本授業は、下記の日程で実施(学外実習を含む)される集中講義です。 学外実習以外は担当された教室での対面授業を実施します。 <授業実施日程> ・8月17日(月)1~4限 ※学外実習先(3限):女性たちの戦争と平和資料館(wam)(東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVAC0ビル2F) ・8月18日(火)1~3限	若干名	1年以上	早稲田キャンパス
10	近現代朝鮮社会史 2	上山 由里香	本授業は、歴史に対する様々な見方や、主体的に問い直す力を養うことを目的とする集中講義です。植民地支配や戦争が、1945年以降の社会の再編過程で、人びとの生活世界にどのように作用したのかを検討します。その際、特定の国家の歴史としてではなく、帝国と植民地、移動と越境といった広域的な歴史構造のなかで捉える視点を養います。 実習では、在日韓人歴史資料館での学外実習を通して、展示資料や証言と向き合い、それらを批判的に読み解きながら、「誰が歴史を語るのか」「記憶はどのように形成されるのか」について検討します。 日記・写真・証言など様々な史料を用いた分析や受講生同士の議論を通して、歴史の枠組みそのものを問い直し、自ら問いを立てて論理的に説明する力を養います。	1	受講人数により形式は検討する予定ですが、適宜グループでのディスカッションやグループワークなども取り入れる予定です。 本授業は、下記の日程で実施(学外実習を含む)される集中講義です。 学外実習以外は担当された教室での対面授業を実施します。 <授業実施日程> ・8月25日(火)1~4限 ・8月26日(水)1~3限 ※学外実習先(2~3限):在日韓人歴史資料館(東京都港区南麻布1-7-32 韓国中央会館別館)	若干名	1年以上	早稲田キャンパス
11	EUにおける人の移動と保健医療政策	福田 八寿絵	EUは難民・移民の流入など大きな変化に直面している。本演習では、国境を越える人の移動に係る多様なリスクに、いかに対処すべきかをEUを事例として考えてみたい。EU域内における人、モノ、サービスの越境移動と医療保障、保健医療福祉政策について、国際社会保障の視点から学ぶ。医療専門職(医師・薬剤師・看護師等)と患者の自由移動をめぐる諸問題、臨床研究と生命倫理、医療文化、高齢者、障害者、児童・女性、移民・難民などの人権と関係する諸問題について考える。グローバル化と高齢社会が進む欧州において、社会保障政策とくに保健医療・公衆衛生政策がどのように展開されているのか、その問題点や課題をわが国と比較しつつ議論したい。EUが域内において人の移動を政策的に促進するなか、専門資格を有する労働者の移動にはいかなる制度設計が必要となるのかなど、グローバル化に伴い外国人の流入も増加している日本と比較しつつ、移民・難民問題と国際社会保障を考える手がかりを見出すことを目的とする。 本年度のこの演習は、EUと保健医療政策の基礎を身につける。EU研究の初学者に対してもわかりやすく解説を行うので、EU入門者も積極的に参加することを歓迎する。	2	■授業実施期間 8月17日(月)2時限~4時限 8月18日(火)2時限~4時限 8月19日(水)2時限~4時限 8月20日(木)2時限~4時限 8月21日(金)2時限~3時限	若干名	1年以上	早稲田キャンパス

※ 過去に単位を修得した科目を再受講することはできません。

※ 授業日程に注意して申込みを行なってください。授業日程が重複した科目を申込んだ場合、1科目しか履修できません。また、その際に履修したい科目を選択することはできませんので、注意してください。